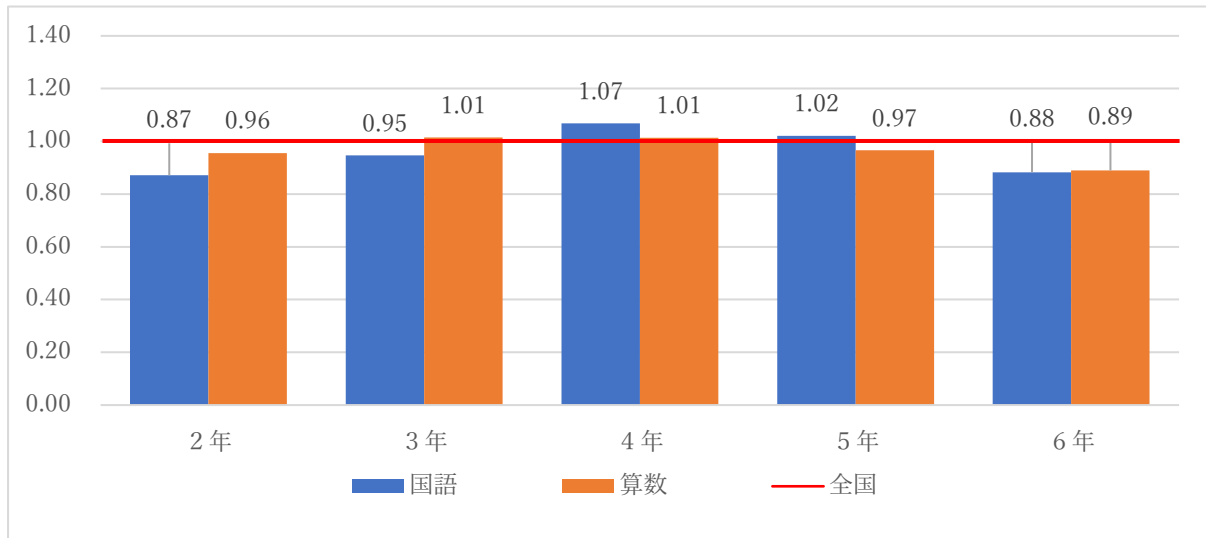


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について
中木田中学校区 木田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

| | | |
|-------------|-----|---|
| 学習到達度調査 | 国語 | 学習の基礎となる「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域については、概ね良好な結果であった。今後も、主体的な学びの実践を大切にする中で、こうした基礎の学力に加え、「情報の扱い方」や「書くこと」に関わる力の育成も図っていく。 |
| | 算数 | 「数と計算」領域については、どの学年も概ね目標値を上回ることができた。今後も算数学習における基礎的な力の育成を図りながら、特に活用力の充実に努めていく。 |
| 全国学力・学習状況調査 | 国語 | 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域については、全国平均と同水準の結果であった。一方、「情報の扱い方に関する事項」について課題が見られる。原因と結果など情報と情報との関係における理解力や、目的に応じて文章と図表などを結び付けることを意識した学習を進めていく。 |
| | 算数 | 「数と計算」の領域では、比較的良好な結果であった。一方、計算のきまりを工夫して活用する問題や理由を問う設問については課題が見られた。理由を考えたり、既習の内容を活用したりする学習活動の充実に努めていく。 |
| | 質問紙 | 「勉強は大切だと思いますか」という質問について、93%以上の児童が肯定的な回答をしているが、学校以外での学習時間は短い傾向にある。今後、子どもが主体的に学習に向かおうとする力の育成に努める。 |

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での合同研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学6年生の中学校登校日を設定するなど、小中一貫校として9年間を通した取組を推進している。

【学校】

各種調査結果の分析と共有を行い、本校の子どもの強みや課題を見据えた上で、ねやがわスタンダードに基づく子どもが主体的に学びに向かう授業を推進する。校内公開授業を全教員が年間複数回行うなど、教員自身が主体性を持ち、ベクトルを揃えて授業改善を目指すことで、学校としての教育力の向上や子どもの「考える力」「生き抜く力」を育成していく。